

令和5年10月20日
国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所

山間部でDX推進！

～人々の命と暮らしを守る砂防施設の機能維持のために～
～長時間ドローン等の活用～

近年、豪雨災害が激甚化・頻発化し、各地で甚大な被害が発生しています。砂防施設は土石流から人々の命と暮らしを守っています。砂防施設の機能を維持するため、急峻な山を徒歩で移動し、約2か月もの期間をかけて点検を実施しています。近年、様々な機能を有したドローンが活用され、省人・省力化が図られています。現在、人力によって行われている砂防施設の点検をドローンで行い、作業効率化の実現を目指すための実証実験を行います。

- 1. 日時**

令和5年 10月31日（火）10：00～12：00（予定）
（Teams 配信は往路のみ 11時頃まで）
予備日 11月 3日（金）10：00～12：00（予定）
※ 天候等の影響で10月31日の実証実験が困難な場合、予備日に延期
- 2. 実施場所**
 - 1) 徳山ダム湖～徳山白谷（岐阜県 揖斐郡 揖斐川町）
 - ①長時間飛行ドローン実証実験
 - 2) ナンノ谷（岐阜県 揖斐郡 揖斐川町）
 - ②近接接近ドローン実証実験
 - ③望遠撮影ドローン実証実験実証実験の詳細は別紙-1のとおり
- 3. スケジュール** 別紙-1のとおり
- 4. 視聴**
 - 1) 実験会場
徳山ダム管理所（岐阜県揖斐郡揖斐川町開田 448）
 - 2) WEB 会議システムによる視聴申込
駐車場の制限からWEB 会議システムによる視聴とさせていただきます。
視聴を希望される場合は、以下 URL よりお申込みください。
<https://forms.office.com/r/riPUwBqYz3>
 - 3) 申込受付期限：令和5年10月27日（金）12：00まで

5. 主催者 国土交通省 中部地方整備局 越美山系砂防事務所

6. 解禁指定 なし

7. 取材 取材を希望される場合は、取材申込書（別紙-2）を電子メールまたはFAXにて
申込みください。**※現地取材受付中**
取材場所 徳山ダム管理所 1階会議室（実証実験 WEB 配信会場）

8. 添付資料 実証実験概要・スケジュール（別紙-1）、
取材申込書（別紙-2）、参考資料（別紙-3）

9. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ
越美山系砂防事務所管内（本巣市・揖斐川町）支局
ケーブルテレビ CCNet 本巣支局、株式会社 大垣ケーブルテレビ

10. その他 ・天候等により、延期となる場合があります。
中止の場合は前日の15時00分を目途に越美山系砂防事務所 HP
（<https://www.cbr.mlit.go.jp/etsumi/index.php>）でお知らせします。

11. 協力機関 岐阜県 本巣市 揖斐川町
（独）水資源機構 徳山ダム管理所
岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター
（一社）岐阜県建設業協会 （一社）日本建設機械施工協会中部支部
（一社）岐阜県建設コンサルタンツ協会 （一社）揖斐建設業協会
（一社）中部地域づくり協会 （一社）岐阜県測量設計業協会
砂防工事安全技術協議会他

12. 問い合わせ先 越美山系砂防事務所 TEL(0585)22-2161
全般 副所長 神野 祐一
実証実験詳細 調査課長 高橋 正信

実証実験 概要・スケジュール

1) 概要説明 10:00～10:05

2) 実証実験現場 徳山ダム湖～徳山白谷

① 長時間飛行ドローン実証実験

10:05～11:00

<内容>

砂防施設を俯瞰的に確認

(飛行距離：往復約10km・飛行時間 約2時間)



操縦者がドローンを直接目視しない状態で飛行させます (レベル3相当 補助員付き)

3) 実証実験現場 ナンノ谷

② 近接接近ドローン実証実験

10:30～10:35

<内容>

目視で実施していた砂防設備のひび割れ等を確認



③ 望遠撮影ドローン実証実験

10:35～10:40

<内容>

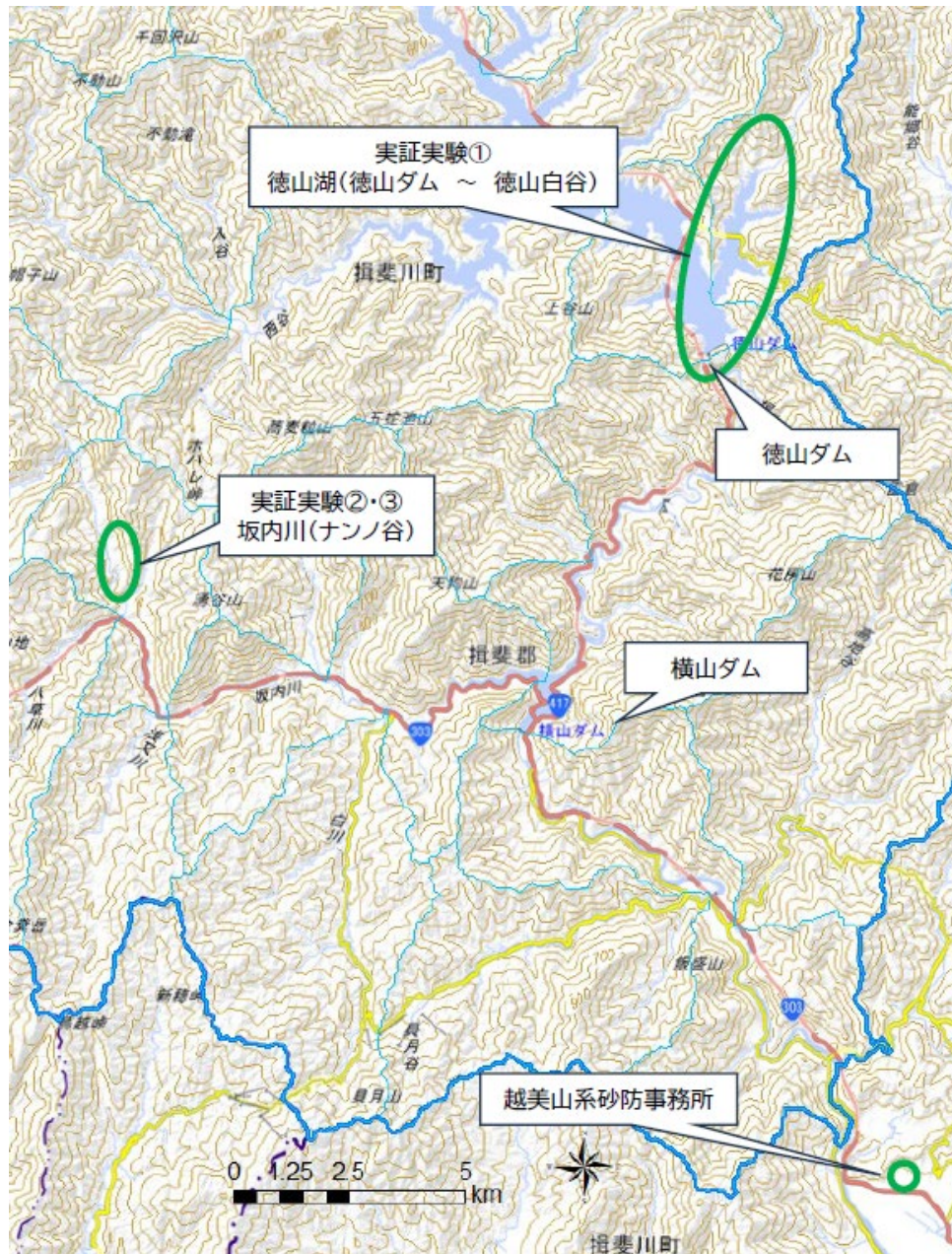
遠方から溪流や砂防施設を俯瞰的に確認



4) 閉会

11:00

実証実験 実施場所



実証実験①:長時間飛行ドローン実証実験
実証実験②;近接接近ドローン実証実験
実証実験③:望遠撮影ドローン実証実験

取材申込書

取材をご希望される社におかれましては、こちらの取材申込書を期限までにメールまたはFAXにて提出をお願いいたします。**※現地取材受付中**

17:00

送信期限 令和5年10月27日（金）~~12:00~~まで

1. 社名 _____

2. 取材記者

i) お名前 _____ ※代表者（ふりがなもお願いします）

ii) ご連絡先 電話番号： _____ ※当日ご連絡が取れる連絡先

iii) 取材人数 _____ 人（全体）

iv) 駐車車両台数 _____ 台（車種/ナンバー4桁： _____ / _____）

※注意事項

- ・ 報道関係者であることがわかるように腕章または名札の着用をお願いいたします。

3. 取材登録書送信先

越美山系砂防事務所 総務課

メールアドレス cbr-etsumi@mlit.go.jp

TEL 0585-22-2162

FAX 0585-22-6971

人々の命と暮らしを守る砂防施設の機能維持 長時間ドローン等による点検

- ・近年、豪雨災害が激甚化・頻発化し、各地で甚大な被害が発生しています。
- ・砂防施設は、土砂災害から人々の命と暮らしを守っています。
- ・今年8月に来襲した台風7号に伴う大雨で、岐阜県西美濃地方揖斐川流域では、累積雨量500mmを超え、土砂災害の恐れがありました。多量の土砂、流木が流出しましたが、砂防堰堤で捕捉し災害を免れました。
- ・砂防堰堤が果たす機能を維持するため、定期点検等を行っています。
- ・点検は、点検する約200基の砂防堰堤等を徒歩で行い、約2ヶ月もの期間をかけています。

■ 砂防施設：約200基

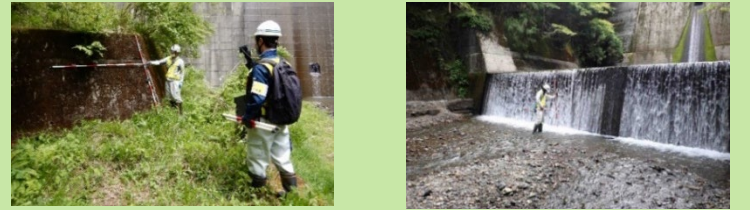


●R5台風7号 土砂・流木捕捉状況

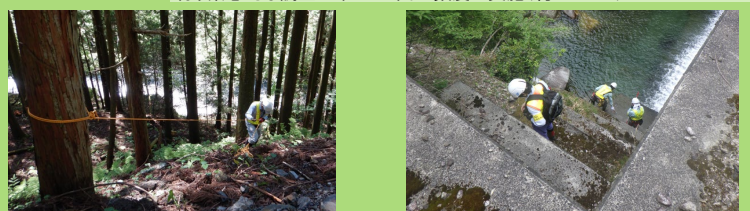


●施設点検

定期点検 砂防設備の損傷や把握することを目的に、年1回(2名による4班体制)を約2か月で実施



臨時点検 豪雨や地震発生時等の不定期に、施設機能の低下などを把握するために、行う緊急的な調査で年3~4回の頻度で実施(約2~3日)



◇ 長時間ドローン等による点検

Before

人力による点検

- ・徒歩で急斜面を移動するため危険を伴う
- ・施設間の移動に時間を要する
- ・担い手不足

人力による点検作業

定期点検：約2か月

After

ドローンによる点検

- ・アクセス時間・作業時間の短縮
- ・作業の安全性向上
- ・省人、省力化

ドローンによる点検作業

定期点検：約1週間(目標)

